



学校だより

令和6年 2月1日

東京都立小平特別支援学校

校長 阿部 智子

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

「様々なことと向き合いながら、次のステップに進んでいく2月」

1月1日に「令和6年能登半島地震」が起こってから1か月が経ちました。被災地では、地震の回数は徐々に減少しているものの依然として地震活動の活発な状態は続いており、雪や雨によって土砂災害の危険もある、と報道されています。親元を離れて集団避難する中学生や保護者の方々の不安な思いは計り知れません。1月最後の週末に東京でも震度4の地震がありました。備えあれば憂いなしという気持ちで、各御家庭でも災害時の家族での集合場所、指定緊急避難場所、指定避難所などの確認を行っていただければと思います。

【授業参観・作品展の御参観ありがとうございました】



新学期が始まって、インフルエンザの感染が心配されましたが、学校としても消毒や手洗い・うがいなどの感染対策の徹底を行い、授業参観、作品展を行うことができました。御参観いただきました保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

今年度は、お子様の当該グループだけではなく、全てのフロアでの参観を可能とし、全学部、全学年の授業の参観、作品も観ていただけるようにいたしました。

小学部、中学部、高等部と年齢を重ねることでの作品のデザインの発想力や力強さなどの変化を感じていただけたのではないのでしょうか。

上左の写真は、小学部では絵本をイメージした、かわいらしい作品です。高等部になるとパソコンで作成したデザインをボールペンやコップの表面をコーティングする個性的な図柄とした、より実用的な作品となっていました。子供たちはスタンプラリーをしながらそれぞれの作品展の鑑賞を行いました。

また、訪問学級は、右の写真のように紙すきをしてカレンダーを作ったり、羊毛フェルトでコースターを作ったりして、作り方と共にきれいに飾り付け、展示しています。今年度は、各学部、学年によって展示場所が異なり校内を歩き回っていただくことになってしまいましたが、その分、普段は行ったことのない他学部のフロアなど校内の隅々まで御覧いただけたかと思います。



【小平養護・小平特別支援学校同窓会主催の第2回20歳を祝う会が行われました】

本校の同窓会では、昨年から、今まで行ってきた「成人を祝う会」の名称を変更し、新たに「20歳を祝う会」として会員の皆さんを中心に本校を会場にして開催して下さっています。

今年は1月21日(日)に、2年前の卒業生とともに80名以上の関係者が体育館(アリーナ)に集まり、近況を発表して、旧交を温め、楽しく過ごすことができました。コロナ禍で制約の多かった高等部時代を余儀なくされた中で、本校の70周年記念祝典を中心的に進めてくれた生徒たちでした。

晴れ着や羽織はかま姿、スーツやドレスと晴れやかな表情の卒業生に再会することができて、同窓会の「小平のなかま」みんなで卒業生の20歳をお祝いできたことに感謝しています。「20歳おめでとうございます。」

2022年4月1日から成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が施行されました。高等部3年生は18歳になると大人として扱われます。国政選挙や東京都の選挙のみならず、在学中に投票権を行使するということは、それぞれのお住まいの地域によって市長選挙や、市議会選挙などが行われる場合、起こりうることになります。ですから我々教師側も、教育者としてのネジを締め直して『大人』として向き合い、対応していく必要があります。

【小平養護・小平特別支援学校同窓会について】

小平養護・特別支援学校同窓会ですが、一昨年、障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰を受け、令和4年12月6日にリモートでの授賞式を校長室で執り行ったことを、以前学校だよりで報告させていただきました。

小平養護・特別支援学校の同窓会は昭和41年に発足し、今年58年目を迎えました。当事者である会員（卒業生）を支援する特別会員・準会員（教職員等）と共に途切れることなく継続的に活動を続けており、コロナ禍においても成人を祝う会をリモートで行ったり、同窓会総会を校内で密にならないように工夫して行ったりしてきました。

現在は60周年を目指して活動をされていますが、特別会員として発足当時から関わってくださっている遠山陽子先生は元小平養護の音楽の教員で、現小平特別支援学校校歌の作曲者です。しかしながら、卒業生の同窓会会員がなかなか増えない現状があり、これからの同窓会運営が心配されています。卒業生が集える居場所としての同窓会の活動が、これからも続いていけるように御理解、御協力いただけたらと願います。

【中学部・高等部スポーツ交流会 2月1日(木)、2月2日(金)】

寒波を吹き飛ばす勢いでスポーツに取り組んでいます。中学部は2月1日(木)、高等部は2月2日(金)に生徒会を中心とする実行委員会が開閉会式を担当し、中学部、高等部それぞれグループごとにビリーボール、ハンドサッカー等のスポーツを通して、生徒同士互いに協力し合い、楽しむことを目的とした雄姿を披露します。

保護者の皆様には、アリーナ(体育館)での観戦に向けて、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染対策での御協力をいただきます。生徒が安全、安心に競技に取り組めますよう、御理解、御協力ください。

【東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会 2月17日(土)】

1月20日(土)に「インクルフェス2024 ハンドサッカーエキシビジョンマッチ」が多摩市立総合体育館で行われました。本校からは2チームが参加し、2月17日(土)に行われる「東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会」に向けてそれぞれの課題を確認し、チーム小平としての結束を高める試合となったのではないかと思います。

今年度の「東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会」は、コロナ禍を経て有観客となり、各出場校が揃ったの4年ぶりの試合で、武蔵の森総合スポーツプラザメインアリーナが会場となります。久しぶりに東京都肢体不自由特別支援学校が顔を合わせて戦える大会となるので、他校の様子を知り、たくさんの観客がいる中で試合をするという緊張感、臨場感を体験することになります。私は、子供たちの表情がどのように変わって、どのようにチーム小平としての力を発揮してくれるのかとても楽しみです。保護者の皆様には送迎など御協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。

【公開研究会を行います 2月16日(金)】

「深い学びにつながる授業づくり」～学習指導要領に基づくねらいを焦点化した児童・生徒主体の授業づくり～を研究テーマに、各部門の特色に応じた研究を行ってきました。公開研究会ではその成果を発表します。

肢体不自由教育部門では、学習指導要領に基づく年間指導計画(小平スタンダード【国語】)を基に「ねらいを焦点化した授業づくり」に取り組み、国語の単元ごとに児童・生徒にどのような力を身に付けさせるかを学習グループで検討し、実践、授業改善に取り組んできました。また、病弱教育部門では、入院している児童・生徒の実態に合わせて「多職種連携を生かした授業づくり」と「子供のSafetyを満たす授業づくり」について研究を行ってきました。

当日は、参観者に健康チェックと感染症対策の協力をお願いし、午前中に肢体不自由教育部門の授業公開、訪問教育及び病弱教育部門はブースで実践紹介を行います。午後は、講師の下山直人先生と副島賢和先生の御講演とシンポジウムを行い、様々な状況にある児童・生徒の深い学びとは何か、「言葉にこだわる」授業づくりについて我々教職員の研修を深めていく取組を行います。

都内外の特別支援学校等、外部からの研究会参観者に本校の教育実践を発信していくとともに、これからの小平特別支援学校の教育活動のために教職員の学びを深める取組となるようにいたします。

校長 阿部 智子